

クエ種苗の放流

令和元年10月29日に伊東・熱海地区でクエ種苗の放流が行われました。御前崎市の温水利用研究センターから活魚車で輸送された2,000尾の種苗は、伊東港で漁業者により漁船に移されて各地先に放流されました。平均サイズは14.1cmで、一部の種苗には標識が装着されました。50cm・2kg以上までには5年程度かかるといわれており、今後が楽しみです。なお、同じ日に南伊豆地区でも3,500尾のクエ種苗が放流されました。



漁業者が活魚車からバケツリレーで船に積み込みました



一部の種苗には水色のスパゲティ型標識を装着しました

(高木康次)